

2. 経済学部で学ぶみなさんへ

今日、私たちが生活する社会は世界的な経済格差の拡大、経済対立の深刻化、そして新型コロナウイルス感染症の世界的な広がり、経済・社会生活への影響など、さまざまな課題に直面しています。経済学はこれらさまざまな課題とその解決に向けて、多くの有益な知識や考え方を提供してくれます。

経済学と聞いて、みなさんはどのような学問を想像されますか。経済＝お金だから、経済学はお金について考える学問、あるいはお金儲けの方法を学ぶ学問を想像されるかもしれません。経済学がお金について考える学問であるというのは必ずしも間違いではありませんが、経済学が対象とするのはお金に関することに限りません。経済学を定義づけるのはとても難しいのですが、最近の経済学の代表的な教科書では、経済学を「人々の選択に関する学問である」と定義しています。経済学は、人々が希少資源の配分をどのような選択をするか、そして、その選択がどのように社会に影響するかを研究します。つまり経済学は私たちのあらゆる行動（選択）を対象とします。し

たがって、経済学の適用範囲は経済成長、景気、金融危機、経済格差の拡大といったいわゆる経済問題に限らず、教育、健康、人口、環境など、私たちの生活に関係する幅広い分野がその対象になります。また、経済学は選択の結果どうなるか、という事実解明的な問いに留まらず、選択の結果が良いか、悪いか、という規範的な問いにも有用であり、公共政策の立案、評価にも貢献することができます。

東北学院大学の経済学部経済学科ではキリスト教精神と幅広い教養教育を基礎に、経済学の専門的知識を修得し、時代に流されず、先を見通す経済社会の理論とスキルを身に付け、多方面において社会に貢献できる人材を養成します。

経済学部教育課程（カリキュラム）は教養教育科目、外国語科目、専門教育科目が体系的に提供され、幅広い教養を身につけ、経済学の基礎理論から応用へ、そして現実の経済問題や政策について段階的に学ぶことができるものになっています。また、少人数で行う演習科目も全学年に配置されており、経済学部に入學されたみなさんの知的関心に合致した高度で専門的な学びと研究ができるようになっています。最近では全国規模の研究大会、懸賞論文等で毎年、経済学部所属の学生が最優秀賞等を受賞するなど、経済学部での学修の成果が示されています。

経済学部では、優れた研究業績と豊富な教育研究経験をもつ学部専任教員が、みなさんの学びへの道案内を懇切丁寧に行います。大学では「受け身」の姿勢では得られるものは決して多くはありません。経済学部で過ごす大学4年間で実り豊かな学生生活となるように、みなさんには十分な履修計画を立て、自ら主体的に学ぶ姿勢を持って、何事にも積極的に取り組んでいただきたいと思います。



経済学部長

佐藤 康 仁